

全国保育士養成協議会東北ブロック
「第1回教授法研究会」
『保育内容総論』の授業実践について

東北福祉大学
山崎 敦子



はじめに…

●出身地…大阪市阿倍野区

●これまでの経歴

H4.8 大学院修了

H5～ 大阪市立旭東幼稚園



H9～ 宮城教育大学附属幼稚園



H15～宮城学院女子大学附属幼稚園



H23～東北生活文化大学短期大学部



R2～ 東北福祉大学



〈担当科目〉 保育内容総論・保育内容の指導法・保育内容（環境）・保育内容（人間関係）・保育の実技と演習・保育の画と評価・保育教職実践演習 等

〈担当科目〉 保育内容総論・保育内容（環境）の理論と方法・保育内容（言葉）の理論と方法・保育課程論・保育原理・保育者論 等

『保育内容総論』について

●対象： 短期大学部1年生

●開講時期： 前期

●授業形式： 演習

●授業の概要：

A・B 2クラスに分かれて行う。

1クラス約25名程度

・保育の全体構造と「5領域」について理解できるようにすると共に、子どもの主体性を尊重する保育、環境を通して行う教育、生活や遊びを通じた総合的な保育等、保育の基本を踏まえた保育内容の展開の仕方について概説する。

・0歳児から5歳児までの各発達段階における子どもの姿や特徴をまとめ、それぞれの実態に即した具体的な保育の展開について理解を深める。

●授業の目標：

①保育（幼稚園・保育所・認定こども園）の全体的な構造を理解する。

②保育内容の基本的な考え方（5領域）について理解する。

③子どもの発達や実態を知り、それらに応じた具体的な保育内容の展開について理解する。

●授業内容：

- (1) ガイダンス・「保育内容」とは何か？
- (2) 幼稚園教育要領と保育内容（5領域について）
- (3) 保育所保育指針と保育内容（養護と教育）
- (4) 認定こども園教育・保育要領と保育内容
- (5) 0歳児（6か月未満）の生活と保育内容
- (6) 0歳児（6か月以上）の生活と保育内容
- (7) 1歳児の生活と保育内容
- (8) 2歳児の生活と保育内容
- (9) 3歳児の生活と保育内容
- (10) 4歳児の生活と保育内容
- (11) 5歳児の生活と保育内容
- (12) 保育内容の歴史の変遷
- (13) 現代社会における保育の課題
- (14) 遊びを通して5領域を考える①：実践
- (15) 遊びを通して5領域を考える②：発表・まとめ
- (16) 試験



「保育内容」
って何？

「5領域」
って…？



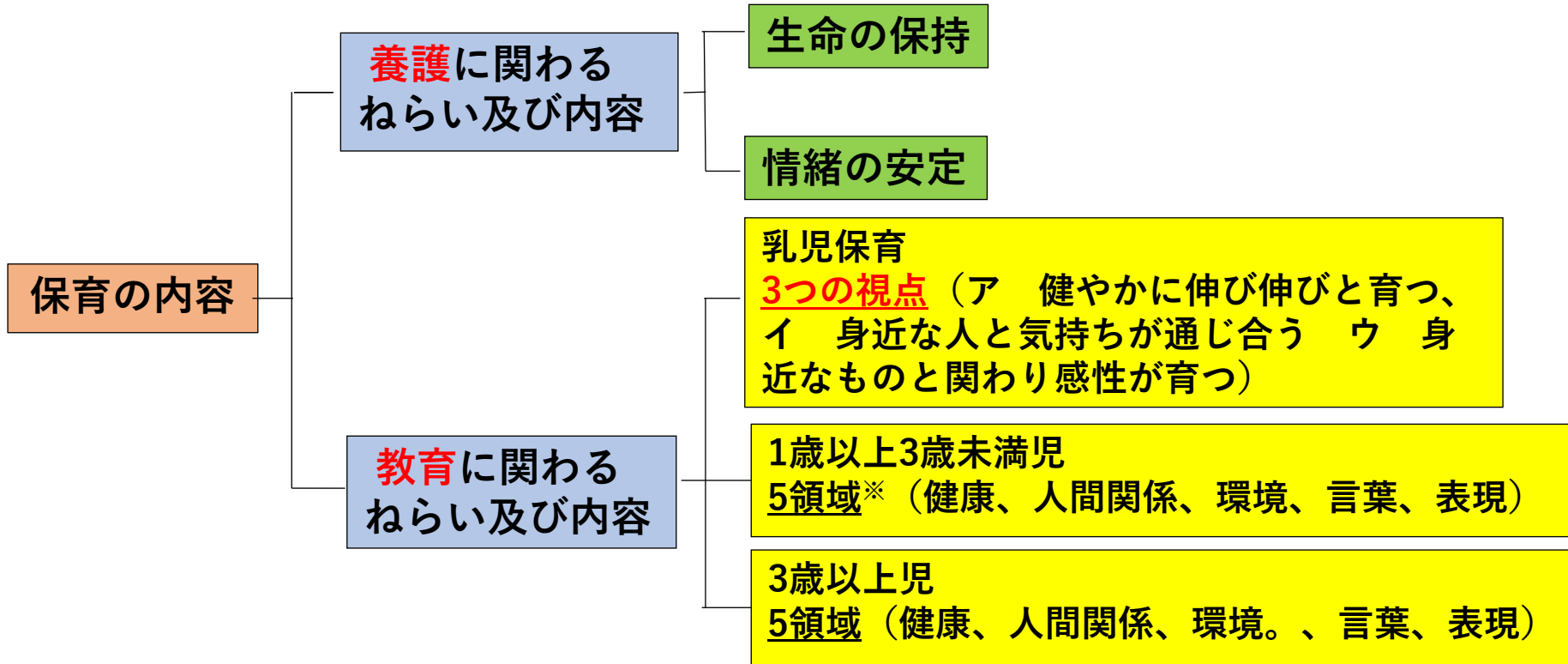
「教育要領」？
「保育指針」？

「養護」と「教育」？

「〇〇論」って
難しそう…



保育内容のおおまかな体系



※3歳以上児のねらい及び内容とやや異なる

表2-2 発達区分による保育のねらい及び内容一覧

発達区分	乳児保育	1歳以上 3歳児未満	3歳以上児
保育のねらい及び内容	<p>生命の保持・情緒の安定</p> <p>乳児保育の3つの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的発達に関する視点「健やかに伸び伸びと育つ」 ・社会的発達に関する視点「身近な人と気持ちが通じ合う」 ・精神的発達に関する視点「身近なものに関わり感性が育つ」 	<p>養護</p> <p>5領域 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p>	<p>教育</p>
	<p>保育の実施上の配慮事項</p> <p>乳児保育に関わる配慮事項</p>		

5領域って何？

問： 事例の中の①～⑤の場面は、それぞれ5領域のどの領域がかかわっているか？

〈事例〉 砂場でのダム作り

A君が①砂場で夢中になって穴掘りをしていた。途中で②B, C君が来て

健康 環境

「ここにダムを作ろう」と提案し、ダム作りが始まった。「水も入れよ

人間関係 言葉 環境

う」という話になり、穴を掘る子、水を汲んでくる子、木の枝や葉を集め

る子と役割分担ができ、③3人で協力してダイナミックにダム作りをする姿

健康 人間関係

が見られた。④遊んでいるうちに意見が食い違ってけんかになったが、話

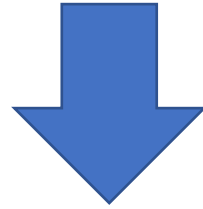
人間関係 言葉

し合って何とか解決することができた。⑤高い山や深いダムを作ったり、

枝を立てたり、木の葉を刺したりして立派なダムができ上がった。

環境 表現

一つの**遊び**は複数の領域にまたがっている

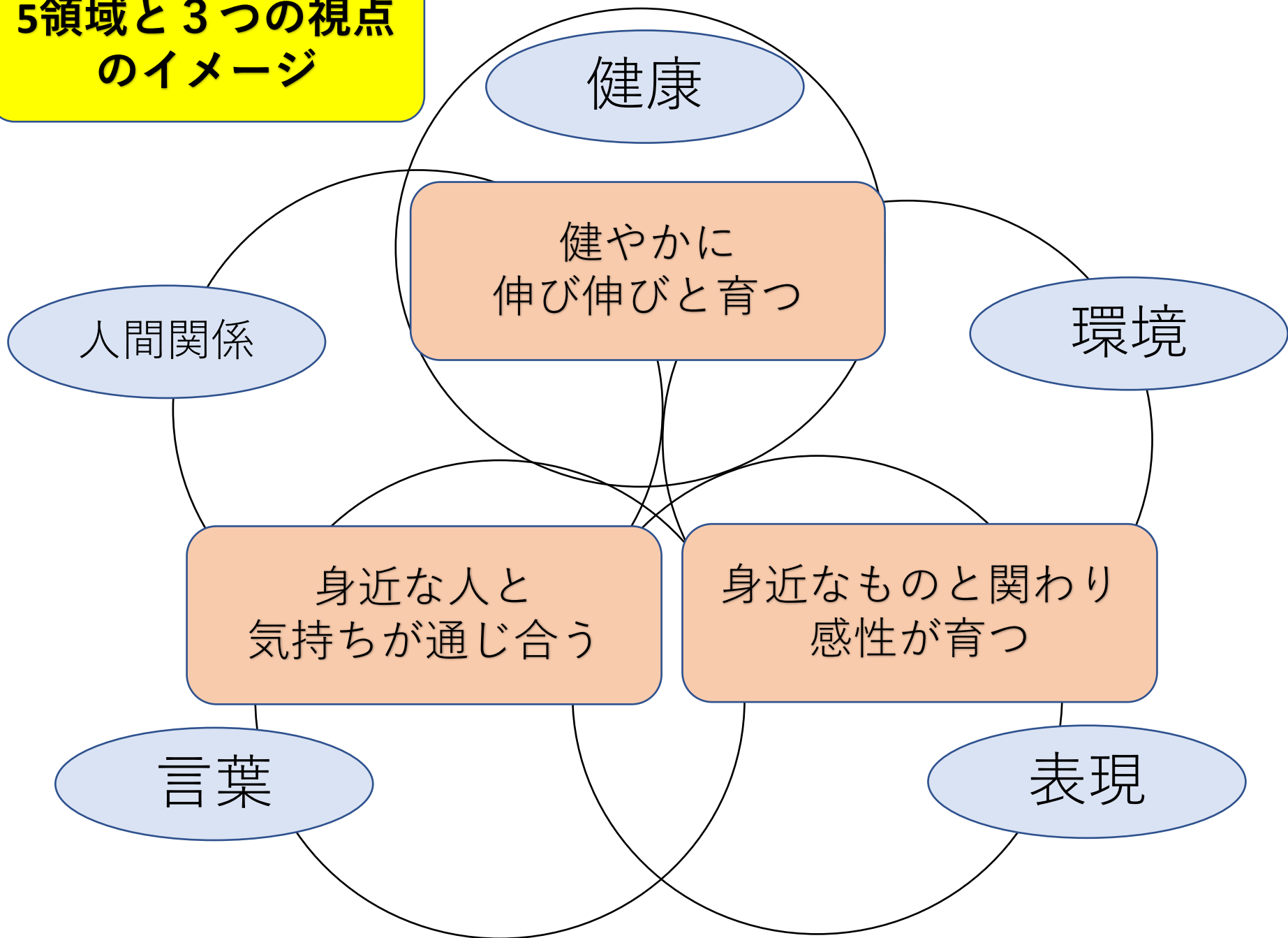


子どもは**遊び**を通して心身の様々な側面を発達させている



遊びを通しての総合的な指導

5領域と3つの視点
のイメージ



健康

戸外でのびのびと自発的、主体的に活動する

自分の考えを友達に伝えたり友達の考えを取り入れたりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう

身近なものを用いて友達と共通のイメージを実現しようと試行錯誤する

人間関係

環境

遊びの中で子どもは育つ！！

道具の貸し借りなどルールに従って遊ぶ

汽車やとこの数、水の量、高さなどを考えながら取り組む

お互いに言葉を掛け合い、自分の役目や役割を考えながら遊びを展開する

言葉

完成させた喜びを全身で表現する

表現

保育において育みたい資質・能力

学びに向かう力、人間性等

心情・意欲・態度が育つ中で、
よりよい生活を営もうとする。

「環境を通して
行う教育」
を基本として
育てる

三つの資質・能
力を一体的に育
むようにする

遊びを通しての 総合的な指導

知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、
気付いたり、分かったり、でき
るようになったりする。

思考力、判断力、表現 力等の基礎

気付いたことや、できるようにな
ったことなどを使い、考えたり、
試したり、工夫したり、表現
したりする。

保育において育みたい資質・能力

学びに向かう力、人間性等
もっとピカピカのお団子を作りたい！

**遊びを通しての
総合的な指導**

知識及び技能の基礎

砂は濡れると色が変わる。
さらさらの砂をかけると
ピカピカしてくる。

思考力、判断力、表現 力等の基礎

さらに固いお団子を作ろうとする工夫

保育において育みたい資質・能力



具体的な姿として

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

自立心

戸外でのびのびと自発的、主体的に活動する

健康

自分の考えを友達に伝えたり友達の考えを取り入れたりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう

健康な心と体

身近なものを用いて友達と共通のイメージを実現しようと試行錯誤する

協同性

社会生活との関わり

人間関係

道具の貸し借り、順番を守るなどルールに従って遊ぶ

道徳性・規範意識の芽生え

お互いに言葉を掛け合い、自分の役目や役割を考えながら遊びを展開する

言葉

言葉による伝え合い

完成させた喜びを全身で表現する

表現

豊かな感性と表現

思考力の芽生え

自然との関わり

環境

汽車やといの数、水の量、高さなどを考えながら取り組む

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊び

=

学び

遊びの中で学んだことは
教えられて与えられた
ことよりも深い学びに
つながる



各年齢の子どもの生活と保育内容

- 年齢ごとに発達を目安を理解する

→資料をお見せします

- DVDを見ながら遊びや生活の様子を確認する
(10分程度)
- 年齢ごとの保育のポイントを学ぶ
(保育の中で大切にしたいこと)

・実践する

(例) 0歳児前半：赤ちゃん人形を使ったふれあい遊び
(「でこちゃんはなちゃん」、「いちりにりさんり」等)

1歳児：保育教材の製作

2歳児：歌・手遊び等

3～5歳児：折り紙



トコトコ人形

3歳児向けのカタツムリ



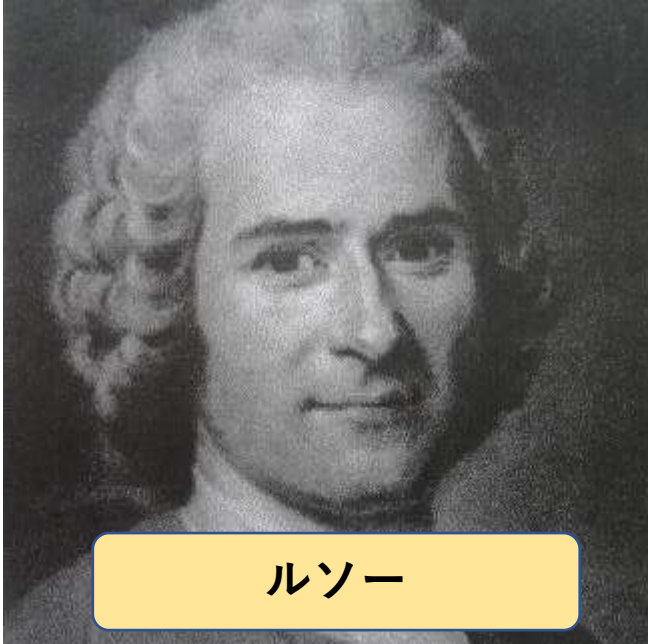
5歳児向けのカタツムリ



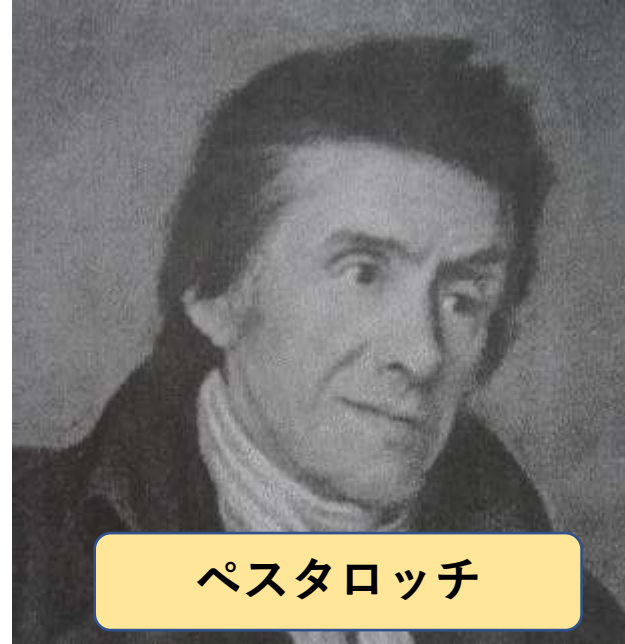
オンライン授業の場合

➡ 折り紙、製作、手遊び等をあらかじめ録画し、動画を配信する（予定）

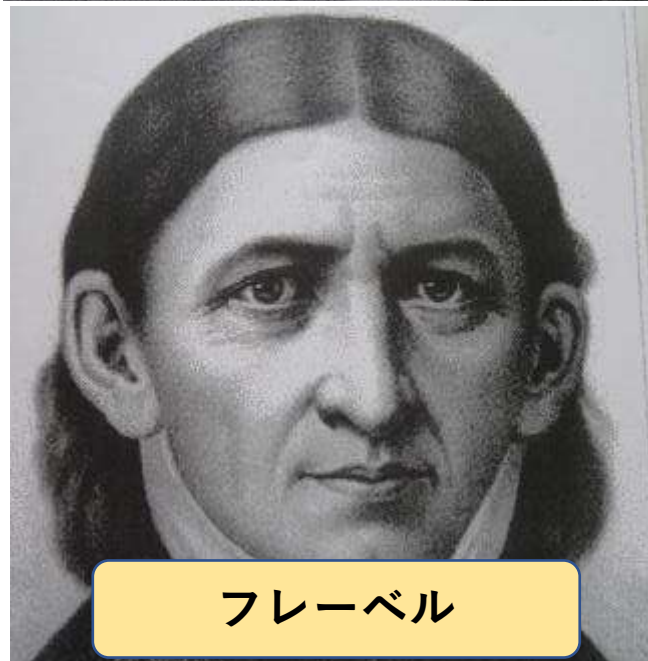
保育内容の歴史的変遷



ルソー



ペスタロッチ



フレーベル



倉橋惣三



第七恩物（色板） フレーベル

フレーベル第7恩物（色板）

写真・資料：大阪教育大学附属幼稚園

幼稚園恩物

積木
第五

大阪蔡倫社製

積木
箱寸14×14×14cm

保育細目一

手技

手技幼雅園息物ノ用ニ手及眼ヲ練習シ心意

發育ノ速セシムルモト然レテ息物ニ球積木挑方

撥ギ方画キ方豆細工土細工紙細工等ヲナシム

六球

六球赤青黄緑紫梅ノ色ニ球ナリ之ヲ弄

ビテ自然ノ其形體彩色輕重硬軟等ヲ知

覺セシム或唱歌和レテ之ヲ振リ又回轉セシム等

真蝶弄鳥ノ翔ケル如キ意ヲ惹起セシメ手続練

習ヲ遂ケシムルヲ要シ主トシテ最幼ノ兒ノ用ア

六球別ニ圖解セズ

積木

積木ノ第三第四第五第六息物及撥ギ方

用ニ挑方第七息物板挑第八息物箸挑第九

息物環挑及紐ヲ用フ又時トシテ箸環ヲ合セ用ヒ

或ハ板箸環ヲモ併セ用フルコトアリ





5領域の理解 その2～遊びを通して

領域への基本的な考え方を学習した上で、実際に遊びを通して学生自身のさらなる気づきを促し、理解を深めることができるようにする。

①フルーツバスケットのルールを確認する

②フルーツのお面を作る

- ・ フルーツを選ぶ際の留意点を説明する（子ども全員が知っているフルーツを選ぶ、色が重なるフルーツは避けるなど）
- ・ 4種類のフルーツを決め、その中から各自好きなフルーツを選んで画用紙に描いた後、切り抜いてお面にする。



③ フルーツバスケットのルールを学生（保育者役）が説明する

何人かの学生を指名し、「子どもが初めてフルーツバスケットをする」という設定で、一人ずつ説明していく。聞いている学生には、子どもの立場で聞いた場合に理解できるか、わかりやすいかという視点で聞くように伝える。

最後に教員が実際に学生の前で説明をして見せる。

④ フルーツバスケットを行う

教員も含めて全員でフルーツバスケットを行う。



⑥グループで話し合い、領域ごとに黒板に書いて共有する

「5領域くじびき」でランダムにグループを作って話し合った後、黒板に書いて共有する。

オンライン授業の場合



- ・一連の活動（お面作りからゲームまで）を資料にして配信。
- ・フルーツバスケットのルール説明⇒各自考えて書いたものを後日Web上で提出。
- ・実際に製作やゲームを行うことは難しい。
活動の流れ（資料）を読み、各自シミュレーションをしながら振り返りシート（5領域）に記入。Web上で提出。

【成績評価方法・基準】

- ・ 試験（持込不可） ...40%
- ・ 課題提出状況 ...40%
- ・ 受講態度 ...20%

ループリックに
基づいて評価

オンライン授業の場合



- ・ 試験は難しい⇒毎回Web上で選択式の小テストを行い、出席状況も把握する
- ・ 課題⇒Web上で提出（評価可能）
- ・ 受講態度⇒評価が難しい

全体の評価基準を 試験50% 課題提出状況50% に変更する

オンライン授業を進めるに当たって

資料提示型

Edu Track
安定性◎
教育効果△

動画オンデマ ンド配信型

Edu Track
動画収録にやや時間を要する
教育効果○

同時双方向型

Google Meet
安定性△（リスクあり）
教育効果◎